

伊藤ともこの議会報告



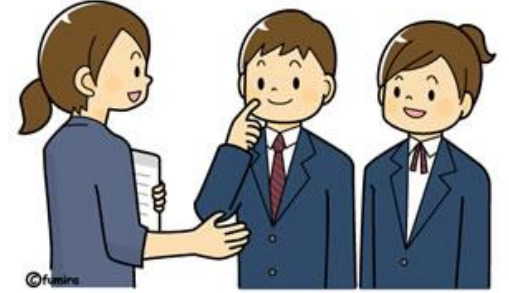
平成30年第1回定例議会は、2月28日～3月23日までの24日間です。

👍 注目予算

● 子どもの困りごとを支援する「児童生徒指導支援員」の追加配置

昨年度までは各中学校区に1名ずつの配置だったが、平成30年度からは南中学校区に2名配置となり、合計4名が町内に配置されています。

SSW（スクールソーシャルワーカー）の方からは、地域に密着している方と一緒に問題解決ができることは非常にありがたいとの言葉を頂きました。



● 70歳以上の運転免許証自主返納者に1万円分のnimocaまたはタクシーチケットのプレゼント

一人1回のみでの支給です。

高齢者のブレーキとアクセルの踏み間違いなどによる痛ましい事故が増加しています。ご自分の運転を振り返り、運転に不安を覚えた方や、そのご家族の方は運転免許証の自主返納を考えてみませんか。

高齢者の生きがい作りのためにも1回のみでの支援ではなく、継続したサービスが必要だと考えています。



伊藤ともこの3月一般質問

① 障がい者雇用について

働くことは生活保障であるとともに、尊厳や生きがいにつながるものです。障がいがあっても自分の能力を活かし働くための制度や仕組みは不十分です。また、周囲の理解も進んでおらず、障がいのある人たちがハンディを感じずに働ける環境にも至っていません。特性を理解して障がいのある人を雇用しているカムラックや、行政が就労支援サービスの役割を担っている北九州市の調査に行きました。



那珂川町では障がい者就労継続支援A型が3か所とB型が5か所あります。町内での働く場所の選択が少ないことは1つの課題です。自治体にこそ障がい者雇用推進の旗振り役になってほしいと考え、庁舎内での雇用推進を求めました。社会的弱者にやさしいまちは、全ての人にやさしいまちです。引き続き、障がい者雇用を推進するための質問を行っていきます。

② Nスペ（中学校民間教育団体活用スペシャル講座事業）について

平成29年9月から各中学校で民間のノウハウを生かした学習の場を提供しています。保護者から「出席率があまり良くない「学力の心配がある子どもこそ任意のものには行かないのではないか」との心配の声があがっています。平成32年度までの3年事業で、8千万円以上の予算を計上していることから、成果と今後についての質問を行いました。

「Nスペ講座」とは

- ・ 那珂川町教育委員会主催で、中学生を対象
- ・ 「学力意欲の高揚」「家庭学習習慣の定着」「学力向上」を目的
- ・ (株)トライグループ（家庭教師のトライ）に委託運営

サポーター会員を募っています！

○サポーター会員

(500円～1500円/年間)

ふくおか市民政治ネットワークの活動は、議員報酬からの寄付と、皆さんの会費とカンパで成り立っています。ぜひ、私たちの活動を支えてください！

○ボランティアメンバー

ニュースを年4回発行しています。

ご近所の方に配布してくださる方を募集中です。

